



## パレスチナ問題と国連の対応に関する問題

## 共通テスト

## 第3問 問6

問 6 生徒Xと生徒Yは、下線部①における国連の対応について話し合っている。  
次の会話文中の ア・イ に入るものの組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15

X：国連総会は長い間、パレスチナ問題について検討してきたけれど、ガザで発生してきた武力衝突を止めることはできなかったね。

Y：実際に戦闘状態になるような場合、本来は安保理が対応すべきだよ。安保理で拒否権が行使されて機能しなくなったから、総会は ア に基づいて審議を断続的に行ってきたんだよね。

X：その中で、2024年に総会は、イスラエルに対してパレスチナ占領政策を終了するよう求める決議を採択したけれど、イスラエルは反発しているよ。

Y：それでも、総会は、2012年にはパレスチナをオブザーバー国家として承認したし、2024年にはパレスチナの加盟承認決議を採択して、加盟国に準じる資格や権利を与えてきたよ。これは、解決にあたっては、イ 和平合意を成立させる方向で行くべきという総会の強い意思が示されているんじゃないかなあ。

X：そうは言っても、両紛争当事者が納得しないと解決しないよね。

Y：そうだね。武力による解決が当たり前にならないためにも、総会で粘り強く議論していくことが重要だと思うよ。

ア に入る語句

- a 国連平和維持活動を実施するための決議  
b 「平和のための結集」決議

イ に入る記述

- c パレスチナに対して、イスラエルという国家の下で一定の自治を認める  
d イスラエルとパレスチナが、互いにそれぞれを独立国家として承認する

## 河合塾

全統プレ共通テスト 公共、政治・経済  
第3問 問5

問 5 生徒Xと生徒Yは、地域紛争と国際連合(国連)のかかわりについて調べるなかで、パレスチナの国連加盟に関する2024年の決議をみつけ、その内容を踏まえて次のメモを作成した。後の会話文中の空欄 ア・イ に当てはまるものの組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

- 国連総会、パレスチナの国連加盟を支持する決議案を採択(2024年)  
・総会(193か国で構成)は、パレスチナの国連への正式加盟を支持する決議案を日本やフランスなど143か国の賛成多数で採択した。アメリカやイスラエルなどはこれに反対している。
- パレスチナの国連加盟が承認されるために必要な手続  
・安全保障理事会が総会に対して加盟承認の勧告を決議したのち、この決議に基づいて総会で審議が行われる。そして、総会に出席しかつ投票する構成国の3分の2以上の賛成があれば、その加盟は承認される。

X：「政治・経済」の授業では、1993年にイスラエルとパレスチナ解放機構との間で成立した合意に基づき、パレスチナ自治政府による暫定統治が ア とガザ地区において承認された、と学習したよね。

Y：そうだね。パレスチナはその後、国連への加盟を申請しているんだけど、正式承認には至っていないんだ。メモに示された決議の後、その状況は変わっていない。

X：このメモによれば、総会では3分の2以上の国がその加盟を支持しているね。でも、安全保障理事会では加盟承認の勧告決議が成立していない。安全保障理事会で加盟承認の勧告を決議するには、イ の賛成が必要だから、拒否権をもつアメリカが賛成しないことには、難しいよね。

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ① <u>ア</u> ヨルダン川西岸地区 | <u>イ</u> すべての理事国       |
| ② <u>ア</u> ヨルダン川西岸地区 | <u>イ</u> 5常任理事国を含む9理事国 |
| ③ <u>ア</u> グラン高原     | <u>イ</u> すべての理事国       |
| ④ <u>ア</u> グラン高原     | <u>イ</u> 5常任理事国を含む9理事国 |

空欄の一つは、本試験では「平和のための結集」決議が、全統プレ共通テストでは安保理の議決方式が出題されており、ともに国連の仕組みに関する知識が問われている。もう一つの空欄は、本試験・全統プレ共通テストともに、パレスチナ問題をめぐる具体的事実が問われている点が共通している。